

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
九十九里町	第11工区・山之神土地改良区 【山武中央土地改良区】 (小関・田中荒生)	令和3年3月15日	令和3年3月15日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	141.46ha	
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	79.48ha	
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	89.34ha	
	i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	11.01ha
	ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	78.32ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	10.06ha	
(備考)		

2 対象地区の課題

農業従事者の高齢化や農業機械の更新を契機とした農業離れ等により、農業の担い手不足が深刻な状況となっています。

後継者確保のため、認定農業者の育成、法人化、新規就農者の支援等地域の実情に即した経営体の育成を進める必要があります。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地利用は、中心経営体である認定農業者が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することで対応いたします。

中心経営体の経営基盤の強化を図るため、人・農地プランの推進により、農地集積率の向上を目指します。

また、集落営農組織について検討いたします。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

集落営農組織について、現状の中心経営体を交えて、今後の方向性を定めます。

収益性の高い農産物の生産（施設園芸等）をして、安定した経営基盤づくり。

A I 農業の推進、モデル農業の推進、自然エネルギーの利用。